

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	その他/演習 J12 (Seminars in Education J12)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	教育哲学		
担当者名 (Instructor)	河野 哲也(KONO TETSUYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU3710	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

このゼミは、教育哲学をテーマとして、①体験を広げる、②対話する力、コミュニケーションする力を養う、③自分自身で考えられるようになることを目標とします。期末にレポート(12,000字)を提出する。

This seminar has the following target themes of educational philosophy (1) to broaden experiences (2) to foster discussion and communication skills (3) to gain skills to have own thoughts. Students will turn in a report (12,000 characters) at the end of the term.

授業の内容(Course Contents)

本講義では、以下のテーマについて、学生の発表を中心に進めます。(1)SDGsの哲学とその教育実践、(2)子どもの哲学と哲学対話、(3)当事者研究。ゼミは、グループに分けて発表をして、対話することを中心にして進めます。これらのテーマについて、学生が中心になって自分のテーマに関する発表を行い、ディスカッションします。

In this class, students will give presentations focusing on the following topics. (1) Philosophy of SDGs and its educational practice, (2) Philosophy of children and philosophical dialogue, and (3) Tojisha-Kenkyu. For the seminar, the class will mainly focus on students' small-group presentations and dialogues. Students will initiate the classes in presentations and discussions for their own themes relevant to the topics above.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス、自己紹介、授業の進め方とスケジュール
2. 学生発表・ディスカッション①
3. 学生発表・ディスカッション②
4. 学生発表・ディスカッション③
5. 学生発表・ディスカッション④
6. 学生発表・ディスカッション⑤
7. 学生発表・ディスカッション⑥
8. 中間レポート提出
学生発表・ディスカッション⑦
9. 学生発表・ディスカッション⑧
10. 学生発表・ディスカッション⑨ 最終レポートに向けての発表
11. 学生発表・ディスカッション⑩ 最終レポートに向けての発表
12. 学生発表・ディスカッション⑪ 最終レポートに向けての発表
13. レポートの検討とディスカッション
14. 最終レポート提出、まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

発表とディスカッション中心の講義になり、発表は4回ほど機会があります。自分の関心に沿って、発表とレポートを相互に批評し合いますので、毎回の準備を怠らないでください。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 発表とディスカッションへの参加(30%) / 中間レポート(30%)
中間レポート・最終レポートは必ず提出すること

テキスト(Textbooks)

1. 松本茂・河野哲也、2007、『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』、玉川大学出版部 (ISBN:4472403439)

参考文献(Readings)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

河野研究室のHPです。<https://www2.rikkyo.ac.jp/web/tetsuyakono/index.html>

子どもの哲学に関心をお持ちの方には、実践の機会をお知らせするメーリングリストに入ってください。参加したい方は、河野に声をかけてください。

注意事項(Notice)